

# 今後の予定

第 86 回 9 月 21 日 (木) 13 : 00

『血の通った経済学を求めて』

鈴木興太郎氏 一橋大学名誉教授、早稲田大学荣誉フェロー、名誉教授  
日本学士院会員

講師は、経済システムや経済政策の立案など、個人の福祉・権利・自由に影響を及ぼす望ましい意思決定を行う選択理論のわが国第一人者として知られる。氏は制度の設計と選択次第で人々の福祉を高めうるとする理論を構築。これまで歩んできた厚生経済学研究を身近な問題として分かり易く説く。

第 87 回 10 月 19 日 (木) 13 : 00

『これからの技術革新を考える』 (仮題)

小宮山 宏氏 工学博士 三菱総合研究所理事長 第 28 代東京大学総長

ビジョンと行動力溢れる工学博士。その専門は、化学システム工学、機能性材料工学、地球環境工学、CVD 反応工学、知識の構造化など多岐に及ぶ。東大総長時 (2005-2009 年) は、「東京大学アクション・プラン」を公表して改革を進め、現代のリベラル・アーツの構築、学術統合化などを進めた。

第 88 回 11 月 19 日 (木) 13 : 00

『中東と米国・トランプ政権』 (仮題)

高橋和夫氏 国際政治学者 放送大学教養学部教授 (2008 年—)

1979 年 6 月コロンビア大学博士課程単位取得

現在の代表的中東研究者の 1 人。クウェート大学客員研究員の経験があり、現地情報にも精通。イラクは、過激派組織「イスラム国」(IS) 掃討でモスル奪回に成功したと宣言するが、果たして今後、ゲリラ的暴威は封じられるのか。地政学上の要衝である中東で米国、ロシア、トルコなど域外国の思惑を含み地域は複雑、混迷化を深めよう。